

クリスチャンライフ学院・シラバス

年度・学期	2023 年度・春学期	単位	2
科目コード	M23S01		
分野・科目名	家族 「家族の礎を思い描く」		
講義日程	月曜日 4/10・4/17・4/24・5/8・5/15・5/22・5/29・6/5〔・6/12〕		
講師	松坂 政広		

講義の概要	家族の礎を学際的に考察し、メンタリングの手掛かりを導いていただく。家族とは何か？家族を通して社会を、親族とは何かを、家族は崩壊しつつあるかを、家族の多様性を、「生」そのものを共有する存在としての家族を、「個人・家族・社会」というシステムのなかでの家族を、社会と家族と個人の関わり合いを問いかけ、考える。
第1回	家族とは何か？を問いかける（概論）
第2回	家族を通して社会を考える
第3回	親族とは何か？を考える
第4回	家族は崩壊しつつあるか？を考える
第5回	家族の多様化を問いかける
第6回	「生」そのものを共有する存在としての家族を考える
第7回	「個人・家族・社会」というシステムのなかで家族を考える
第8回	社会と家族と個人の関わり合いを描く
目標	1) 家族の礎をめぐって、家族に寄り添う。その手応えを導いていただく。 2) ワンクッションコミュニケーションで各週のテーマを互いに問いかけ合う。 3) メンタリングのヒントを共有し合う。

【課題・成績】

- それぞれのテーマに関する論文を読んで、メンタリングのヒントを持ち寄って、教室、あるいはズームにてクラスに参加し、分かち合ってください。
- 家族に関するメンタリングノートを以下の構成（クラス参加前の記述 20%、クラス参加時の記述 50%、今学期を総括しての記述 30%を合わせて、A4 で計 3 頁 3000 字から 4000 字程度）で作成し、学期末に指定された期日に指定された方法で提出していただく（60%）。

【課題図書】

以下の論文を読んで、メンタリングのヒントを分かち合う。

クリスチャンライフ学院・シラバス

- 『家族学のみかた。』 AERA Mook 朝日新聞社 1998
- 「もはや無前提に「家族」を研究のユニットにはできない」 牟田和恵（社会学）
- 「かつてわれわれにはさまざまな「親」がいた」 清水昭俊（文化人類学）
- 「いまの日本を離ればもう少し楽になれる」 瀬地山角（比較社会学）
- 「「公」と「私」を見なおす」 丸山茂（法社会学）
- 「家産の保護から個人の保護へ」 石井美智子（法学）
- 「政策単位の個人化という課題」 庄司洋子（社会福祉学）
- 「女性の経験や思いに焦点をあてる」 江原由美子（女性学）